

高校生、保護者、進路指導担当者 必読

日経CAREER
MAGAZINE

特別編集

価値ある大学 就職力ランキング 2025 2026

日経
独自調査

調査リニキュアル

卒業生が活躍している

大阪経済大学

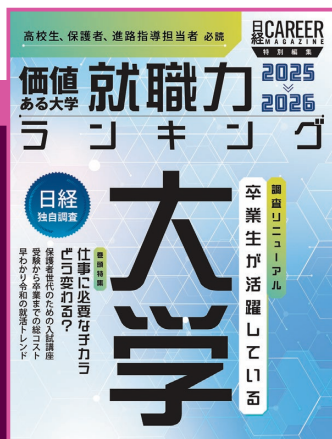
大学の人材育成力ランキング

キャリア教育に熱心に取り組む大学

全国で**5**位(近畿私大で2位)

就職支援体制が充実している大学

全国で**8**位(近畿私大で2位)



日経HRの許可により日経キャリアマガジン特別編集
「価値ある大学 就職力ランキング2025-2026」から抜粋したものです。禁無断転載

大学の 人材育成力 ランキング 2025-2026

社会で活躍する人材を育てるために、大学はさまざまな取り組みをしています。企業の人事担当者に、キャリア教育や産学連携、留学生支援、グローバル教育、すぐれた研究、就職支援、地域活性化の7項目を評価してもらい、人材育成力ランキングとしてまとめました。

調査概要

- 調査名：企業人事に聞いた
「卒業生が活躍している大学」調査
- 調査期間：2025年2月28日(金)～4月11日(金)
- 調査対象：2025年2月現在の全上場企業
(新興市場含む、外国会社は除く)と
一部有力未上場企業
- 調査対象数：5208社
- 回答社数：695社(回答率13.3%)
- 調査主体：日本経済新聞社と日経HR
- 調査協力：日経リサーチ

調査内容・集計方法

全上場企業と一部有力未上場企業を対象に、過去2年間(2023年4月～2025年3月)の新卒採用において、正社員として採用・入社した実績のある大学を人数の多い順に15大学まで挙げてもらった(国公立5大学まで、私立10大学まで)。挙げた大学について、2年間の入社人数(選択式)と、各大学の「卒業生の資質・姿勢」(12項目)、および「大学の取り組み」(7項目)に関して、あてはまるかどうかを6段階評価(※1)で聞いた。

※1「非常に平均を上回っている」(採用した社員全体の上位10%に相当)を最高の評価とし、高い順から「10点(非常に平均を上回っている)」「8点」「6点」「4点」「2点(平均並み)」「0点(平均以下)」として2点刻みで集計した。

■各項目の得点の算出方法

項目ごとに獲得した点数に対して、2年間の入社人数を重みとした加重平均値を「得点」とした。

■「新・就職力ランキング」各側面別得点の算出方法(側面別ランキング)

各側面に該当する3項目(※2)を合算し、項目数(3)で割った平均値を「得点」とした。項目による重み付けは行っていない。

※2 側面①～④に対応する「卒業生の資質・姿勢」項目は以下の通り。

- ①行動力：主体性がある／やり遂げる力(遂行力)がある／チャレンジ精神・熱意がある
- ②コミュニケーション能力：対人力がある／発信力がある／柔軟性・適応力がある
- ③知力・思考力：論理的思考ができる／専門的な知識・スキルがある／課題設定・解決力がある
- ④成長力：自律力がある／学び続ける力がある／創造力がある

■「新・就職力ランキング」総合得点の算出方法(総合ランキング)

「卒業生の資質・姿勢」についての側面別得点を単純合算した。側面による重み付けは行っていない。

■「大学の人材育成力ランキング」の総合得点の算出方法(総合ランキング)

「大学の取り組み」(※3)7項目に関しての項目別得点を単純合算した。

※3 「大学の取り組み」の項目

キャリア教育(就職対策以外)に熱心に取り組んでいる大学／就職や教育において産学連携に積極的である大学／外国人留学生の受け入れ、教育・就職支援に力を入れている大学／日本人学生のグローバル教育に熱心に取り組んでいる大学／すぐれた研究を行っている大学／就職支援体制が充実している大学／自治体や地域の企業と連携するなど地域の活性化に貢献している大学

■ランキングの対象

調査対象企業から名前が挙がった件数を大学ごとに合計し、その件数が一定水準以上に達した大学を対象とした。誌面では、「新・就職力ランキング」の側面別ランキング、「大学の人材育成力ランキング」の大学取り組み別ランキングともに上位25位を掲載している。得点は小数点以下2桁表示(四捨五入)。

取り組み別ランキング

順位	分類	大学名	得点
1位	国	佐賀大学	8.32
2位	私	愛知大学	8.00
3位	私	神戸学院大学	7.83
4位	国	宇都宮大学	7.58
5位	私	大阪経済大学	7.45
6位	国	群馬大学	7.27
7位	国	熊本大学	7.22
8位	私	龍谷大学	7.17
9位	国	香川大学	7.15
10位	国	名古屋工業大学	7.09
11位	私	日本工業大学	6.95
12位	私	大阪電気通信大学	6.93
12位	国	和歌山大学	6.93
14位	国	筑波大学	6.87
15位	私	名城大学	6.81
16位	公	高知工科大学	6.79
17位	私	中京大学	6.78
17位	私	愛知工業大学	6.78
19位	私	関東学院大学	6.74
20位	私	拓殖大学	6.73
21位	国	広島大学	6.61
22位	国	山形大学	6.59
23位	国	東北大学	6.58
24位	国	岡山大学	6.55
25位	国	鹿児島大学	6.54
25位	国	三重大学	6.54

キャリア教育に熱心に取り組む大学ランキング

国公立も注力するキャリア教育 産学連携は地域とのつながり

キャリア教育（就職対策以外）に熱心に取り組んでいる大学は1位佐賀大学、2位愛知大学、3位神戸学院大学。佐賀大学は「産学連携」でも3位に入っており、教職員が学外とつながりを持つとする「外向き」の姿勢が評価されている。

す。愛知大学には「やりたいことが明確な人が多い」という声が寄せられました。以前は就職やキャリアに関する取り組みは私立大学のほうが充実している印象がありましたが、近年は国公立大学も注力しており、ランキングでも上位26校中15校が入っています。

就職や教育において産学連携に積極的である大学は1位宇都宮大

産学連携に積極的な大学ランキング

順位	分類	大学名	得点
1位	国	宇都宮大学	8.28
2位	私	東北工業大学	8.14
3位	国	佐賀大学	7.95
4位	国	香川大学	7.91
5位	私	神戸学院大学	7.43
6位	私	愛知工業大学	7.37
7位	私	愛知大学	7.35
8位	国	熊本大学	7.33
9位	国	群馬大学	7.22
10位	私	日本工業大学	7.18
11位	国	名古屋工業大学	7.08
12位	国	東北大学	6.93
13位	国	筑波大学	6.92
14位	国	和歌山大学	6.89
15位	公	高知工科大学	6.84
16位	国	岡山大学	6.81
16位	私	大阪電気通信大学	6.81
18位	国	鹿児島大学	6.73
19位	私	神奈川工科大学	6.69
20位	国	三重大学	6.65
21位	私	京都産業大学	6.64
22位	私	名城大学	6.63
23位	私	大阪経済大学	6.60
24位	私	近畿大学	6.58
25位	私	摂南大学	6.56

近畿私大
2位

近畿私大
4位

学、2位東北工業大学、3位佐賀大学でした。上位25校のうち理工系大学が7校ランクインしています。宇都宮大学は「キャリア教育」でも4位に入っています。産学連携含め多様な観点から学生のキャリア観の醸成に努めている点が評価されました。東北工業大学はつながりの深い地域の企業から支持されています。

取り組み別ランキング

順位	分類	大学名	得点
1位	国	京都大学	7.70
2位	国	名古屋工業大学	7.67
3位	国	鹿児島大学	7.65
4位	国	九州工業大学	7.63
5位	国	北海道大学	7.61
6位	国	東京科学大学	7.44
7位	国	熊本大学	7.33
8位	国	群馬大学	7.29
9位	国	岩手大学	7.27
10位	国	金沢大学	7.26
11位	国	岡山大学	7.22
12位	国	神戸大学	7.13
13位	国	筑波大学	7.04
14位	国	東北大学	6.92
15位	国	和歌山大学	6.89
16位	国	大阪大学	6.77
17位	国	三重大学	6.74
18位	国	東京大学	6.71
19位	国	東京農工大学	6.69
20位	国	千葉大学	6.54
21位	私	愛知工業大学	6.52
22位	公	大阪公立大学	6.50
23位	国	名古屋大学	6.45
24位	国	静岡大学	6.41
24位	私	愛知大学	6.41

すぐれた研究を行っている大学ランキング

順位	分類	大学名	得点
1位	私	福岡工業大学	8.52
2位	私	東北工業大学	8.29
3位	私	神奈川工科大学	8.27
4位	私	神戸学院大学	8.13
5位	私	愛知大学	8.12
6位	国	宇都宮大学	7.71
7位	私	愛知工業大学	7.47
8位	私	大阪経済大学	7.43
9位	国	和歌山大学	7.42
10位	私	龍谷大学	7.40
11位	私	大阪電気通信大学	7.38
12位	国	名古屋工業大学	7.31
13位	国	佐賀大学	7.25
14位	公	兵庫県立大学	7.20
15位	国	熊本大学	7.17
16位	私	日本工業大学	7.12
17位	国	香川大学	7.06
18位	国	筑波大学	6.99
19位	私	関東学院大学	6.94
20位	私	中京大学	6.92
21位	国	岡山大学	6.91
22位	私	千葉工業大学	6.86
23位	国	東北大学	6.82
24位	私	名城大学	6.76
24位	国	鹿児島大学	6.76

就職支援体制が充実している大学ランキング

近畿私大
2位

研究力は国立大学 就職支援が充実の工業系大学

すぐれた研究を行っている大学は1位京都大学、2位名古屋工業大学、3位鹿児島大学でした。上位20位まで国立大学が並ぶ結果となりました。京都大学は研究実績と領域の幅広さが評価され「アカデミックな研究だけではなく、産業

創出も見据えている」などとコメントされています。名古屋工業大学はハイレベルな教授陣を評価する声が挙がりました。

就職支援体制が充実している大学は1位福岡工業大学、2位東北工業大学、3位神奈川工科大学と工業系大学が上位を独占しました。福岡工業大学は「教職員挙げての学生ファーストの姿勢」「キャリア

センターの支援体制の充実、学内説明会の積極開催」が高評価のポイントとして挙げられています。東北工業大学と神奈川工科大学は「低年次から学生が就職に生かせることを体験できる機会を多く設けている」「積極的なインターシップの実施」など、早い時期から働くことを意識した支援が評価されました。

数字で見る
“DAIKEI”

大阪経済大学の キャリアサポート実績

本学キャリアサポートの強みである手厚さや充実度を表す数字をピックアップ。
資格取得やインターンシップなど、さまざまな角度から学生一人ひとりの就職活動をサポートします。



▼マンツーマン指導件数（対面・オンライン）

のべ **10,000** 件以上／年

本学のキャリア支援の特長の一つにマンツーマン指導体制があります。キャリア支援課の専任職員が学生と1対1で向き合い、しっかりと悩みを受け止めて、適切な助言を返す。その内容は、企業選びから履歴書添削、面接の心得など多岐にわたります。Uターン就職・留学生支援といった個別のニーズにもきめ細やかに対応。長期にわたる就職活動を親身にバックアップしていきます。面談を10回以上利用する学生も多く、人気の高い支援の一つです。

▼大学のキャリアセンター利用率

全国 **55%** | 大阪経済大学 **81%**

全国データの出典：株式会社学情「キャリアセンター（就職課・キャリア支援課）の利用状況」に関して調査。
2022年3月卒業（修了）予定の大学生・大学院生が対象

▼学生1人あたりの平均面談利用回数

10 回

進路
把握率

のべ **100%**

学生の進路を100%把握。今後も卒業生を見守りフォローしていくことはもちろんですが、こうした状況調査をもとに、現役学生の進路支援にもフィードバックしています。

資格講座
受講者数

のべ **1,400** 名／年

将来の選択肢が広がるのはもちろんのこと、就職活動時にも役立つ、各種資格。本学では、大原出版株式会社（資格の大原）と提携して、資格講座を運営しています。例年、のべ1,400名が講座を受講。公認会計士や税理士など、難関といわれる国家資格の合格者を輩出しています。また、多様な学習機会を提供するため、対面に加えオンライン（リアルタイム配信、オンデマンド型）での講座を実施しました。

▼学内企業説明会参加企業数

のべ **530** 社／年

本学学生採用に積極的な企業をお招きし、学生が企業と交流できる場を提供しています。のべ530社の採用担当者が来校し、セミナーは大盛況です。



※2025年3月現在のデータです。

社会で生きる力を実装する

“経済大学”の 学び



産学連携に積極的

近畿
私大 **4** 位※
(全体23位)

「多面的な見方・考え方から、 多様な解を見つけ出す力」を養う

大阪経済大学の特徴は、専門知識の社会実装を見据えながら、ビジネスの現場で実践できる知識とスキルを体系的に身につけられることです。本学は経済界の要請に応え、社会で高く評価されるビジネスパーソンを輩出し続けてきました。西日本最大の経済都市・大阪だからこそ学べる、社会と直結した究極の実学。街全体をフィールドに、理論と実践を融合させ、社会で生きる経験を積み重ねることができます。

学びのアウトプットバトル

ZEMI-1 グランプリ

少人数教育の「ゼミ」が大阪経済大学の学びの中心。アウトプットの機会が豊富で、学内イベント「ZEMI-1グランプリ」では、企業審査員の前でプレゼンテーションを披露。ビジネスに直結した視点でのフィードバックが研究を深化させます。



企業からの挑戦状

チームで挑むPBL

Project Based Learning (課題解決型学習) は、企業が提示する課題に学生チームが解決策をプレゼンする実践型プログラム。実際に存在する企業課題に、生半可な提案は通りません。

これまでの参画企業

- ・日本経済新聞社
- ・株式会社増進堂・受験研究社
- ・株式会社
ログスコアレーションなど



高みへの追求と、問題の追究

学外コンテスト

学外コンテストへの挑戦も盛んです。日本の社会課題の改善につながる政策提言を評価する「WEST論文発表会」「ISFJ政策フォーラム」での受賞など、全国レベルでの評価を勝ち取っています。

2024年度の実績

- ・WEST論文発表会
最優秀論文賞、優秀論文賞
- ・テクノアイデアコンテスト
準グランプリ
- ・スポーツ・健康まちづくりデザイン学生コンペティション
アイデア部門優秀賞など



人生の指針を固める キャリア教育

社会人基礎力を段階的に身につけられる本学のキャリア教育。「将来のイメージが湧かない」という学生も、論理的思考を身につけることからインターンシップまで、多彩なプログラムを通して自身の未来と真剣に向き合う機会が得られます。



家族のように支える 就職サポート

本学の就職サポートは、中規模大学ならではの手厚いマンツーマン指導体制が特長です。キャリア支援課職員と学生の距離が近く、業界・企業分析、履歴書添削、模擬面接など、一人ひとりに寄り添った細やかな支援を行っています。



真の国際人を目指す 留学サポート

アメリカ、フランス、スウェーデン、中国、韓国など、多彩な留学先を用意し、ジャンプ・アップ海外留学奨学金では年間最大150万円を給付。学内での国際交流はもちろん、留学への第一歩を踏み出せる環境が整っています。



社会で活躍し続けるための

“就業力”で未来を切り拓く



キャリア教育に熱心

全国
私大 **3** 位※
(全体5位)

就職支援体制が充実

全国
私大 **7** 位※
(全体8位)

情報をアップデートし、 自身でスキルを向上させていく 術を身につける

就職はゴールではなく、社会人としてのスタートです。長いキャリアを歩み続けるために大切なのは、学び続ける力。大阪経済大学の教育ビジョン「自ら学びをデザインできる学生を生み出す」が目指すのは、目先の結果ではなく、長期的な成長です。そのため、本学では就職力を超えた“就業力”を養うためのサポートを充実させています。

※出典：日経キャリアマガジン特別編集
「価値ある大学 就職力ランキング2025-2026」（日経HR、2025年6月）

- ◎ 産業や金融の専門知識を学ぶ
- ◎ 社会的な問題に迫る
- ◎ 世界情勢を広い視野で把握する
- ◎ フィールドワークで地域社会を知る



経済学部 Faculty of Economics

● 経済学科 ————— 680名

- ・ 産業・金融コース
- ・ 公共政策コース
- ・ 国際政治経済コース
- ・ 地域政策コース

- ◎ 企業の仕組みや社会的役割を知る
- ◎ 経営戦略や商品開発の過程を知る
- ◎ 組織での実践力を磨く
- ◎ ビジネスに関する法律の知識を学ぶ
- ◎ 税務・会計に関する資格取得を目指す



経営学部 Faculty of Business Administration

● 第1部 経営学科 ————— 430名

● 第1部 ビジネス法学科 ————— 200名

● 第2部 経営学科 ————— 50名

- ◎ 情報技術を学び、社会・ビジネスに活用する
- ◎ 高度なITスキル、データサイエンスを習得する
- ◎ コンテンツ制作力と情報デザインを身につける
- ◎ 社会調査、フィールドワークの手法を習得する
- ◎ 情報、会計、ファイナンスの資格を取得する



情報社会学部 Faculty of Information Technology and Social Sciences

● 情報社会学科 ————— 300名

- ・ 総合情報コース
(情報デザイン領域／データサイエンス領域)
- ・ 社会学・現代ビジネスコース
(社会学領域／現代ビジネス領域)

- ◎ 人間の「心」と「身体」と人が形成する「社会」の問題を探究する
- ◎ 心理学の専門知識を学び、資格取得を目指す
- ◎ スポーツや健康について多角的に学ぶ
- ◎ 不確実な現代社会の多様な課題への対処法を学ぶ
- ◎ 変化する社会をしなやかに力強く生き抜き活躍するための実践力を養う



人間科学部 Faculty of Human Sciences

● 人間科学科 ————— 200名

- ・ 臨床心理学コース
- ・ スポーツ科学コース
- ・ 社会ライフデザインコース

- ◎ 国内外の地域の多様性や社会・文化を学ぶ
- ◎ 国際社会の仕組みや課題を学ぶ
- ◎ 社会や地域をデザインする知識と手法を修得する
- ◎ 未来社会に向けた事業を創造する知識と手法を修得する
- ◎ 国際社会で活躍するための語学力を修得する



国際共創学部 Faculty of International Co-Creativity and Innovation

● 国際共創学科 ————— 120名

- ・ グローバル文化領域
- ・ 国際社会領域
- ・ 政策デザイン領域
- ・ 社会創造領域

経済×先端テクノロジーの異分野融合で未来の人材を育成

2025年6月、大阪経済大学と大阪電気通信大学は包括連携協定を締結。経済・経営領域の「実践知」と、工学・情報・医療・ゲーム領域の「実践知」を融合し、越境型教育を推進します。授業の共同開発や単位互換、学生交流を通じて、デジタル時代に必要な課題解決力を備えた人材の育成を目指します。

